

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2003-505347(P2003-505347A)

【公表日】平成15年2月12日(2003.2.12)

【出願番号】特願2001-509765(P2001-509765)

【国際特許分類】

C 0 7 K	14/605	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	14/605	Z N A
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	9/10	
C 1 2 P	21/02	C
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月16日(2006.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エキセンジン-4(1-39)変異体のペプチド結合体であって、エキセンジン-4の36～38位に対応する位置のPro残基が1、2または3個欠失しており、前記エキセンジン-4変異体は、そのC末端によってアミノ酸配列Zに連結されており、Zは1～7個のLysアミノ酸残基を含む、前記ペプチド結合体。

【請求項2】

ZがLys₆である、請求項1に記載のペプチド結合体。

【請求項3】

エキセンジン-4変異体が、des Pro³⁶エキセンジン-4(1-39)である、請求項1または請求項2に記載のペプチド結合体。

【請求項4】

ペプチド結合体が、遊離酸または薬学的に許容される塩の形態である、請求項1～3のいずれか1項に記載のペプチド結合体。

【請求項5】

des Pro³⁶-エキセンジン-4(1-39)-Lys₆-NH₂(配列番号93)、des Pro³⁶Pro³⁷-エキセンジン-4(1-39)-Lys₆-NH₂もしくはdes Pro³⁶Pro³⁷Pro³⁸-エキセンジン-4(1-39)-Lys₆-NH₂、ま

たはその遊離酸もしくは薬学的に許容される塩である、請求項1～4のいずれか1項に記載のペプチド結合体。

【請求項6】

des Pro^{3,6}-エキセンジン-4(1-39)-Lys₆-NH₂(配列番号93)またはその遊離酸もしくは薬学的に許容される塩である、請求項5に記載のペプチド結合体。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチド結合体、および製薬上許容される担体を含む、医薬組成物。

【請求項8】

治療法に用いるための、請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチド結合体。

【請求項9】

医薬組成物の製造における、請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチド結合体の使用。

【請求項10】

I型糖尿病もしくはII型糖尿病、インスリン抵抗性症候群、肥満、摂食障害、高血糖症、代謝異常または胃の疾患の治療用の医薬の製造における、請求項1～7のいずれか1項に記載のペプチド結合体の使用。